

大切な余談

1

科学と技術 → 科学は「真」を、技術は「善」を

講義では「美」について話せませんでした。が、「真」が客観的事実を、「善」が人間の関係性を前提とした価値だとすれば、「美」は主観的価値であり、これがないと人は生きていけないと考えてます。

(科学的に)正しいと、良いを混同してはいけない

体に良い食べ物・頭が良くなるサプリメント

最初に「良い」とは何かを定義しなければインチキ

科学と蓋然性

科学は「効く」とも「効かない」とも断定しない。

「絶対」という言葉は、科学ではほとんど使わない。

統計的有意 $P = 0.05$ は、20回に1回起きる。

たとえば…

2

サプリメントAを3人に与え、飲まない3人と比較。

テストの成績が以下なら、Aが効いたと言えるか？

飲まないグループ = 80.81.84点 平均82点

Aを飲んだグループ = 88.90.92点 平均90点

パラメトリック検定では、 $P = 0.04$ で有意差がある(ともいえる)

ノンパラメトリック検定では、有意差はない

($n = 3$ の実験では、そもそも有意差は出ない)

$P = 0.04$ とは、25回に1回は偶然に「効くという結果」が出る、

ということ。つまり25種類の「効かないサプリ」を調べれば、

1個は、「効く」ものを発見できる！

→科学者のいう統計的に有意差があるにも、常に注意せよ

お薦めの本1

3

科学と神秘のあいだ
ちくま双書ZERO
菊地誠著

科学と客観的思考
神秘・信念と主観的思考



お薦めの本1

4

脳ブームの迷信
藤田 一郎著

管理栄養士という専門家
として、サプリについて
説明する前に、一読を！

